

都市は劇場であり、劇場は都市である

劇場都市

vol.

09

2022



G

Takasaki Culture Event
Information Magazine
GEKIJOTOSHI

高崎市文化事業広報誌

公益財団法人
高崎財団
The Takasaki Foundation

都市は劇場であり、劇場は都市である

都市は、人生の喜怒哀楽が繰り広げられる舞台であり、都市そのものが劇場である
そこで生まれる芸術文化は感動や創造性につながり、都市そのものを作っていく——
「劇場都市」は、そこで生み出される文化芸術活動とそのドラマを紹介していきます

Contents

2 特別インタビュー

自然体で織りなす歌と絵画の世界

八代 亜紀

6 公演情報

群馬交響楽団 × 高崎芸術劇場

GTシンフォニック・コンサート

高崎芸術劇場

2022年度公演スケジュール〈2022.4-2023.3〉

高崎芸術劇場 大友直人 Presents

T-shot シリーズ CD&DVD のご紹介

10 「紅」が繋いだ出会いとご縁に導かれて

「紅板締め」技法を復元し、伝承する活動を続ける染色家

吉村 晴子

14 「TAGO STUDIO RECORDS TAKASAKI」始動

高崎から世界へ！

音楽人が語る「音楽のある街」の未来

裏表紙

Meet The GSO

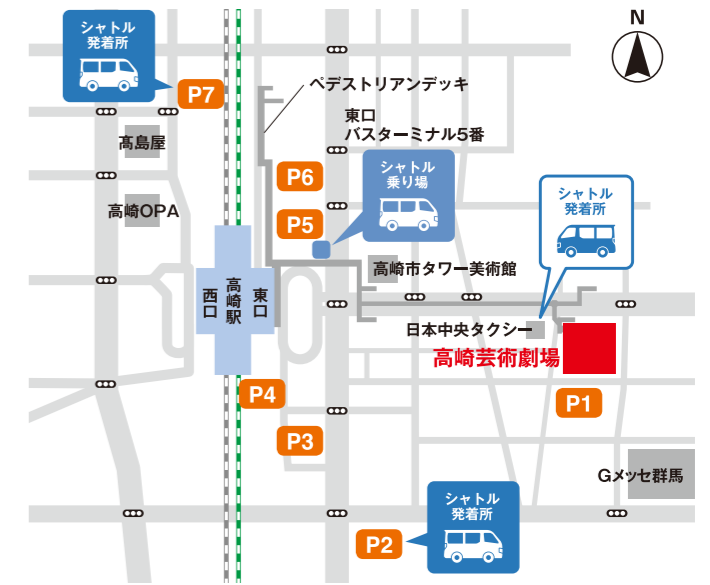
群馬交響楽団 楽団員インタビュー vol.9

チェロ首席奏者 長瀬 夏嵐

P 高崎芸術劇場 近隣駐車場のご案内

高崎芸術劇場の近隣駐車場をご案内します。お車でご来館の際は、ぜひご利用ください。

- P1 芸術劇場南駐車場 高崎市北双葉町1-3
- P2 アートパーク高崎東 高崎市双葉町209-3
- P3 メディアメガ高崎 高崎市下和田町5-3-8
- P4 高崎駅東口駐車整理場 高崎市八島町222
- P5 LABI1立体駐車場 高崎町栄町1-1
- P6 ココパルク800 高崎町東町5
- P7 ウェストパーク1000 高崎市旭町34-1



- 営業時間や料金など詳しくは、各駐車場にお問い合わせください。
- 高崎芸術劇場に専用駐車場及び提携駐車場はありません。

無料 高崎芸術劇場シャトル(大劇場公演日に運行)



高崎芸術劇場では、『大劇場』での公演日に、劇場とアートパーク高崎東、ウェストパーク1000をそれぞれ往復する「高崎芸術劇場シャトル」を運行しています。アートパークルートは、高崎駅東口(バスターミナル5番)を経由します。ぜひご利用ください。

P2 アートパーク高崎東 ルート

劇場行	運行時間	開演2時間前～開演時間 (約5分間隔)
	運行ルート	1 アートパーク高崎東 ↓ 2 高崎駅東口バスターミナル5番 ↓ 3 高崎芸術劇場

駐車場行	運行時間	終演後 約1時間
	運行ルート	1 高崎芸術劇場 ↓ 2 高崎駅東口 交番前 ↓ 3 アートパーク高崎東

P7 ウェストパーク1000 ルート

劇場行	運行時間	開演2時間前～開演時間 (約5分間隔)
	運行ルート	1 ウェストパーク1000 ↓ 2 高崎芸術劇場

駐車場行	運行時間	終演後 約1時間
	運行ルート	1 高崎芸術劇場 ↓ 2 ウェストパーク1000

- お申し込みは不要です。 ● 混雑時は10～15分程お待ちいただく場合があります。また満員の場合はご乗車できない場合があります。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、運行いたします。 ● 駐車料金の割引等はありません。

近隣駐車場・高崎芸術劇場シャトルについて、詳しくはWEBへ▶



自然体で織りなす 歌と絵画の世界。

八代 亜紀 やしろ あき

特別インタビュー

1971年のデビュー以来、第一線で活躍し、今年で歌手生活52年目になる八代亜紀さん。5月には高崎芸術劇場でスペシャルコンサート「八代亜紀×大友直人×群馬交響楽団」が開催されます。ジャンルを超えて様々な活動を精力的に続ける八代さんの素顔に迫りました。



子 子どもの頃から絵を描くことが大好きだった。父の影響で絵を習い始めたのが2、3歳の頃。画家としての一面はここから始まり、以来、「絵」は、かけがえのない心の支えとなっている。

一方で、12歳の時に父がたまたま買ってきたジュリー・ロンドンのレコードを聴き、歌い始めたのが歌手の道を志す第一歩となった。1971年のデビュー以来、第一線で活躍し、今年で歌手生活52年目になる。画家、そして誰もが知る歌手としての、いわば二刀流を極めた八代さんは、一昨年にはYouTubeの「八代亜紀ちゃんねる」を開設し、積極的に情報発信をするなど、新しいことに挑戦し続けている。

「これは挑戦だ！と堅苦しく考えていないんです。私は自然体でどんどんやってゆきたいタイプ。皆さんに喜んでもらえるのが嬉しいんですね。実は、コロナがなければ「ありがとう行脚」というツアーを始めたかったんです。まだ八代亜紀を見たことがない地域へトラックステージで回りたいなと。スタッフも皆賛同してくれていま

す。その他にも、一昨年からは、高齢者の方々や施設スタッフの方々のストレス軽減になればいいなど介護施設向けのオンラインライブをやっています」。時代の波を捉えた発想と行動力は、いつも自然体から生まれている。

八代亜紀×大友直人 ×群馬交響楽団 スペシャルコンサート

そんな八代さんは、今年5月1日、高崎芸術劇場で、群馬交響楽団と初めての共演となるコンサートを開催。オーケストラアレンジを加えた名曲の数々を披露する。オフアアを受けた理由を率直に尋ねてみた。

「お声がけいただき、光栄です。今回は選曲にも関わらせていただいたので、どんなアレンジになるのか自分でも楽しみ。コロナ禍なので音楽で皆さんに元気になってもらいたいと思ったから、お受けしました。しかも、オーケストラアレンジの演奏でというのがなかなかないこと。これはきくと皆さんに喜ばれるなあと。とてもワクワク



オーケストラ用に編曲された名曲の数々を群馬交響楽団が演奏

しています」。

また、「オーケストラはスケールが大きいので、その中で自分のヒット曲がどうなるのか」が楽しみだと話す。名曲「舟唄」や「雨の慕情」がどんなア

スケールの大きなオーケストラ演奏で「舟唄」や「雨の慕情」が、どんなアレンジになるか楽しみ。

Special Interview
AKI YASHIRO

八代 亜紀 Aki Yashiro

熊本県八代市出身。1971年デビュー。1973年に出世作「なみだ恋」を発売。その後、「愛の終着駅」「もう一度逢いたい」「おんな港町」「舟唄」等、数々のヒット曲を出し、1980年には「雨の慕情」で第22回日本レコード大賞・大賞を受賞する。芸能生活40周年を迎えた2010年には、歌唱技術が認められ文化庁長官表彰を受賞。また絵画では、画家の登竜門とも言われる世界最古の美術展、フランスの「ル・サロン」で5年連続入選を果たし永久会員となる。近年では、音楽のジャンルを超えた活動をしており、2012年、ジャズアルバム「夜のアルバム」を発売。邦人アルバム史上最大級となる世界75ヶ国に配信される。2013年3月、ニューヨークの老舗ジャズクラブ「Birdland」でライブを行い、ジャズシンガーヘレン・メリルとの共演を果たす。2015年10月、初のブルースアルバム「哀歌-aiuta-」を発売。2016年、モンゴル国より「日本モンゴル文化大使」に任命される。2017年10月、ジャズアルバム「夜のつづき」を発売。2018年6月、フレンチポップスの女王・シルヴィー・バルタンの日本最後の公演にゲスト出演、シルヴィーと共演。同年8月、モンゴル国より「北極星勲章」を授与される。2019年4月から、BS11で初の冠番組「八代亜紀いい歌いい話」の放送が開始。2021年3月、第42回松尾芸能賞 大賞を受賞。同年9月25日には、デビュー50周年記念 ベストアルバム「八代亜紀 ベストヒット」を発売。



公演もしましたし、2012年には高崎高島屋で絵画の個展を開催しました。その時に絵がすごく売れたんです。高崎は「芸術の街」だな、という印象がありますね。高崎芸術劇場は今回初めて訪れますが、とても楽しみです」と目を細める。

歌は命、 絵はそれを支える精神

幼い頃からずっと絵を描き続けている八代さんには、その人柄を表すエピソードがある。今から40年ほど前のこと。銀座三越で個展開催の声がかかった。「やる意味がないとやりません。個展の売上で交通遺児の支援をするなら」という条件で開催したところ、なんと2時間で絵が完売。それが十数名の子どもの達の高校進学費用になった。

画家としての活動も精力的に行い、素晴らしい才能を発揮されている八代さんの絵画への思いや、歌手活動との関係はどのようなものだろうか。

「八代亜紀としてデビューして、1年に2、3日しか休みがない中で活動していた頃は、絵を描きたくても時間がなくて、睡眠時間を削ってまでも絵を描いてそのまま仕事に行く、という生活。寝ていないから声も出なくなつて、車で移動中に点滴：という日々が13年も続きましたね。今は、自宅では描きません。一ヶ月のうち一週間は箱

根の別荘にこもって、絵を描き続けています。その期間は歌わないので喉も休まるし、好きなことをしているのだからラクしっぱなし。歌にも良い影響をもたらしています。好きなことはしたほうがいいですよ。我慢はよくないですね」。

1998年には、画家の登竜門とも言われる世界最古の美術展「ル・サロン展」に初出品し、見事入選。その後、5年連続入選の要件を満たし、ル・サロンの永久会員になるという偉業を遂げた。

「日本では馴染みがないかもしれませんが、実はすごいことなんです。永久会員には、ルノワール、セザンヌ、モネがいて、八代亜紀もそこに名を連ねているんですよ。歌と絵で、『二刀流』の活動を続けています」。

二刀流を続ける 内に秘めた思い

八代さんには、いつも「誰かのために」という思いがある。これまでも、女子刑務所の慰問をはじめ、様々な社会貢献活動に取り組んできた。

「自分のアーティスト活動の報酬の中から、出来る範囲で社会貢献活動を続けてきましたが、あえて言わなかったんです。でも、歌手活動50年を超えて、今は絵画展や演奏会の売り上げを、被災地支援や進学支援、動物愛護

レンジになるのか。新たな挑戦に心は踊る。

芸術の街、高崎

今回共演する、指揮者・大友直人と群馬交響楽団の印象については「大友

などに還元していることを公表していません。それがステージに立ち続ける意味や様々な活動の根幹にもなっているんです」と微笑む。

肥後もっこす

八代さんの出身地である、熊本の人々の気質を表す言葉としては、一途・頑固な様子を意味する「肥後もっこす」が知られている。

「理不尽なことをされると許せない、引かないところはあります。父はまさに『肥後もっこす』だったので、許せない時は乗り込んで行くような人でした。私は女性だからそこまでではありませんが(笑)。でも、『肥後もっこす』の精神があったから、礼儀や時間厳守の精神が荒波にもまれ、50年も続けてこられたとも思います」。

「肥後もっこす」には、情が深く女性や子どもを大切にしている気質があるという。上州にも「かかあ天下」や、義理と人情に厚いという気風がある。「群馬の義理人情に通じる部分があるかもしれないね。また、うちの母

は、『肥後もっこす』の父を受け止める度量がある人でした。常に父を立てていましたね。群馬の女性に通じるころがあるかもしれませんね」と、上州気質との共通点について、親しみを込める。

素の八代亜紀を発信 夢は若者に「舟唄」を

コロナ禍の2020年4月から始めたYouTubeの「八代亜紀ちゃんねる」では、八代さんのキュートな素顔が垣間見える動画がたくさん紹介されている。なぜ、チャンネルを開いたのか、また見どころはどんなところかを聞いてみた。

「私自身も携帯も持っていないし、今の流行に疎いです。YouTubeチャンネルは、うちの事務所の社長が仕掛け人。開設したのは八代亜紀の素顔を発信するためです。2020年4月、仕事もコンサートもキャンセルになり、アーティストとして出来ることをやろうと。色々な曲を1日で覚えて

歌うというような、無茶な企画も多いのですが(笑)、クスッと笑ってもらえたらと思っています。昔はこんな機会がなかったの、歌のイメージの八代亜紀でしかなかったんですよ。だから、今、素の八代亜紀でYouTubeに出ることが若い方にとっては新鮮なのかなあと。ナチュラルな八代亜紀をお伝えしたい」と語ってくれた。

夢は、「おばあちゃんになって、若者たちに『舟唄』を聴かせる」こと。「『舟唄』は昨年有線で1位になりました。コンサートで『舟唄』になると若者も静まり返るんです。『生・八代を聴きに来た』と若者に言われたいですね(笑)」。自然体の優しい眼差しは、いつでもその先を追い求めている。

高崎の皆さんへ

取材の最後に、コンサートの開催地である高崎市民の皆さんに向けて一言



八代亜紀×大友直人×群馬交響楽団 スペシャルコンサート

【日時】2022年5月1日(日)
14:30開演(13:45開場)
【会場】高崎芸術劇場 大劇場
【出演】八代亜紀、大友直人(指揮)
群馬交響楽団(管弦楽)
【料金】全席指定 8,000円(税込) 好評発売中
【チケット取扱い】高崎芸術劇場チケットセンター
(TEL:027-321-3900) ほか



▲八代亜紀ちゃんねる
QRコード

類まれな才能を発揮し、精力的な活動を続ける八代亜紀さん。終始笑顔で気さくに語ってくれました。5月1日は、多くの方に高崎芸術劇場に足を運んでいただき、ぜひ、八代さんの生の歌声をご堪能いただきたい。

厳しい芸能界で 50年以上やってこられたのは 「肥後もっこす」気質のお蔭かな

GTシンフォニック・コンサート

“オーケストラがある街”の新たな演奏会シリーズが始動！

群馬交響楽団と高崎芸術劇場がタッグを組んでお送りする新たな演奏会シリーズ「GTシンフォニック・コンサート」がこの春始動します。

プログラムはクラシックとポピュラーの2スタイル。「クラシック」は『運命』『未完成』といった定番作品で構成、「ポピュラー」では映画、ミュージカル音楽などおなじみのメロディや迫力あるサウンドを満喫できる作品をお届けします。

目指すのは、もう一つの定期演奏会。高崎芸術劇場を舞台に、“オーケストラのある街”が新たな歴史を刻みます。

公演スケジュール



©Rowland Kirishima
大友直人(指揮)

vol.1/classic program

三大交響曲

4/9(土) 14:00開演(13:00開場)

指揮:大友直人(高崎芸術劇場 芸術監督)

【曲目】

ベートーヴェン/交響曲 第5番 八短調 Op.67「運命」
シューベルト/交響曲 第7番 ロ短調 D.759「未完成」
ドヴォルジャーク/交響曲 第9番 ホ短調 Op.95「新世界より」

チケット
発売中



©山田翔
尾城杏奈(ピアノ)



©Toyohiro Matsushima
荒井里桜(ヴァイオリン)



©Shigeto Imura
岡本侑也(チェロ)

vol.3/classic program

三大コンチェルト

9/19(月・祝) 14:00開演(13:00開場)

指揮:大友直人(高崎芸術劇場 芸術監督)

ピアノ:尾城杏奈

ヴァイオリン:荒井里桜

チェロ:岡本侑也

【曲目】

チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64
エルガー/チェロ協奏曲 ホ短調 Op.85



©Shin Yamagishi
原田慶太楼(指揮)



須川展也(サクソフォン)

vol.2/popular program

映画音楽名作選1

～ジョン・ウィリアムズ コンサート～

6/29(水) 19:00開演(18:00開場)

指揮:原田慶太楼

サクソフォン:須川展也*

【曲目】

《スーパーマン》から スーパーマン・マーチ
《E.T.》から フライイング・テーマ
《ジュラシック・パーク》テーマ
インディ・ジョーンズ《レイダース 失われたアーク》から レイダース・マーチ
《キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン》から エスカペイド*
オリンピック・ファンファーレ&テーマ
《シンドラーのリスト》テーマ
《ハリー・ポッターと賢者の石》から ヘドウィグのテーマ
《スター・ウォーズ》組曲

チケット
発売中



竹本泰蔵(指揮)

vol.4/popular program

映画音楽名作選2

～スクリーンでよみがえる名画選～

11/11(金)

14:00開演(13:00開場)

指揮:竹本泰蔵

【曲目】

《ベン・ハー》組曲
《ゴッドファーザー》から 愛のテーマ、ゴッドファーザーPart2
《太陽がいっぱい》
《ウエスト・サイド・ストーリー》から シンフォニック・ダンス
オードリー・ヘップバーン作品(映像付き)
《ムーンリバー》、《シャレード》、《ローマの休日》



©sajihideyasu
田中祐子(指揮)

vol.5/popular program

ジブリ&ミュージカルナンバー

～音楽の贈りもの～

2023/2/23(木・祝)

14:00開演(13:00開場)

指揮:田中祐子

ゲスト:出演者調整中

*出演者・曲目が変更になる場合がございます。
*未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット取扱い

WEB 24時間受付 受付開始日の10:00～

高崎芸術劇場
メンバーズ (登録受付中)

群馬交響楽団
オンラインチケットサービス

電話 10:00～18:00

高崎芸術劇場チケットセンター
027-321-3900(無休)

群馬交響楽団事務局
027-322-4944(土・日・祝休)

窓口

高崎市施設プレイガイド(窓口発売日の10:00～)

- 高崎芸術劇場(2Fチケットカウンター)(10:00～18:00) (無休)
- 群馬音楽センター 月休 (8:30～17:15)
- 高崎市文化会館 月休 (8:30～17:15)
- 高崎シティギャラリー 無休 (8:30～17:15)
- 箕郷文化会館・新町文化ホール・
榛名文化会館・吉井文化会館 月・火休 (8:30～17:15)
- 高崎市倉洲支所(地域振興課)・
高崎市群馬支所(地域振興課) 土・日・祝休 (8:30～17:15)

チケット料金・発売

5回通し券 全席指定(税込)

S席 20,000円

A席 16,000円

B席 12,000円

左記
TELにて
発売中
(4/9まで)

*U-25(25歳以下)料金での販売はございません。
*全ての回を同じ座席で観覧できます。
*WEBでの販売はありません。

1回券 全席指定(税込)

S席 5,000円(U-25 2,500円) A席 4,000円(U-25 2,000円)

B席 3,000円(U-25 1,500円)

チケット発売 (発売日10:00～) vol.3・4 WEB 6/10(金) 電話 6/13(月) 窓口 6/14(火)
vol.5 WEB 11/4(金) 電話 11/7(月) 窓口 11/8(火)

*車椅子・介助席のご購入は、高崎芸術劇場チケットセンターまで電話でお申し込みください。
*U-25料金は、公演当日25歳以下の人が対象です。



クラシック界の若き才能たちの“今”をお届けする

高崎芸術劇場 大友直人 Presents

T-Shotシリーズ CD&DVDのご紹介

2020年10月に始動した「T-Shotシリーズ」は、高崎芸術劇場 大友直人芸術監督が推薦する才能あふれる若手演奏家を幅広いファンの皆様に紹介する取り組みです。高崎芸術劇場 音楽ホールの豊かな響きを生かしたレコーディングや、ミュージックビデオ、インタビューなどの撮影により完成したCD & DVDが続々とリリースされています。

クラシック界の次代を担う若手演奏家たちの“今”を記録したCD & DVDをぜひお手に取ってご堪能ください。

T-Shotシリーズ vol.1~5 CD&DVDラインナップ

vol.1 荒井里桜(ヴァイオリン)

RIO ARAI IN CONCERT

Recorded at Takasaki City Theatre 2020



[CD]
エルガー/愛の挨拶
クライスラー/愛の悲しみ
ドビュッシー/ヴァイオリン・ソナタ ト短調
フォーレ/夢のあとに
フランク/ヴァイオリン・ソナタ イ長調
フバイ/カルメンによる華麗な幻想曲
[DVD]
ドビュッシー/ヴァイオリン・ソナタ ト短調 第1楽章
メイキング映像 ほか

vol.2 亀井聖矢(ピアノ)

MASAYA KAMEI IN CONCERT

Recorded at Takasaki City Theatre 2020



[CD]
ブラームス/バガニーニの主題による変奏曲 作品35
リスト/ラ・カンパネラ
ショパン/ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 作品58
リスト/ベッリーニ「ノルマ」の回想
[DVD]
ショパン/
ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 作品58 第1楽章、第4楽章
メイキング映像 ほか

vol.3 岡本侑也(チェロ)

YUYA OKAMOTO IN CONCERT

Recorded at Takasaki City Theatre 2021



[CD]
J.S.バッハ/無伴奏チェロ組曲 第5番 八短調 BWV1011
ヒンデミット/無伴奏チェロ・ソナタ 作品25-3
デュティユー/ザッハーの名による3つのストロフ
カザルス/鳥の歌
黛敏郎/無伴奏チェロのための「BUNRAKU」
クラム/無伴奏チェロ・ソナタ
[DVD]
黛敏郎/無伴奏チェロのための「BUNRAKU」
メイキング映像

vol.4 尾城杏奈(ピアノ)

ANNA OJIRO IN CONCERT

Recorded at Takasaki City Theatre 2021



[CD]
メトネル/4つのおとぎ話 第1番、第2番
ラフマニノフ/コレルリの主題による変奏曲 作品42
ストラヴィンスキー/ペトルーシュカからの3楽章
ショパン/24の前奏曲 作品28
[DVD]
メトネル/4つのおとぎ話 第1番、第2番
シューマン(リスト編)/獻呈 S.566
メイキング映像

vol.5 戸澤采紀(ヴァイオリン)

SAKI TOZAWA IN CONCERT

Recorded at Takasaki City Theatre 2021



[CD]
モーツァルト/ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 K.454
サン＝サーンス/ヴァイオリン・ソナタ 第1番 二短調 作品75
プロコフィエフ/ヴァイオリン・ソナタ 第1番 へ短調 作品80
[DVD]
サン＝サーンス/
ヴァイオリン・ソナタ 第1番 二短調 作品75 第2楽章
メイキング映像

●取り扱い
高崎芸術劇場2Fチケットカウンター

●価格
各3,300円+税

●お問い合わせ
高崎芸術劇場 027-321-7300(代表)

\ Coming Soon /

vol.6 上野通明(チェロ)

MICHIAKI UENO IN CONCERT

Recorded at Takasaki City Theatre 2022

2022年1月にリサイタル及びレコーディングを実施したT-Shotシリーズ第6弾、上野通明さん(チェロ)のCD&DVDについては今春発売予定。2021年10月、ジュネーブ国際音楽コンクール優勝という日本人初の快挙により、世界の注目を集めている上野さんのソロデビュー盤です。ご本人の素顔に迫るインタビューなども収録。どうぞご期待ください。

◀2022年1月18日、高崎芸術劇場 音楽ホールでのリサイタルの様子



音響く街 楽奏でる街

高崎芸術劇場 2022年度公演スケジュール <2022.4-2023.3>

大劇場

- 4月14日(木) フジコ・ヘミング スペシャルコンサート
- 5月 1日(日) 八代亜紀×大友直人×群馬交響楽団
スペシャルコンサート
- 6月 4日(土) ミュージカル『四月は君の嘘』
- 5日(日)
- 6月18日(土) 新国立劇場バレエ『不思議の国のアリス』
- 19日(日)
- 11月 4日(金) ハンガリー国立歌劇場『魔笛』
- 12月 ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ
- 2023年
- 1月 1日(日・祝) 第33回高崎元旦コンサート
- 1月14日(土) キエフ・オペラ『カルメン』&『アイダ』
- 15日(日)
- 群馬交響楽団×高崎芸術劇場
『GTシンフォニック・コンサート』
- 4月 9日(土) 三大交響曲
- 6月29日(水) 映画音楽名作選1
～ジョン・ウィリアムズ コンサート～
- 9月19日(月・祝) 三大コンチェルト
- 11月11日(金) 映画音楽名作選2
～スクリーンでよみがえる名画選～
- 2023年
- 2月23日(木・祝) ジブリ&ミュージカルナンバー
～音楽の贈りもの～

スタジオシアター

- 7月10日(日) 第19回高崎演能の会『敦盛』
- 7月30日(土) こまつ座『紙屋町さくらホテル』
- 2023年
- 3月 8日(水) 第20回高崎演能の会『安宅』
- 3月13日(月) 人形浄瑠璃・文楽

音楽ホール

- 5月14日(土) 大友直人Presents T-Mastersシリーズ vol.4
堀米ゆず子 ヴァイオリン・リサイタル
- 5月18日(水) ミッジャ・マイスキー&
ウェールズ弦楽四重奏団
- 6月16日(木) 大友直人Presents T-Shotシリーズ vol.7
谷 昂登 ピアノ・リサイタル
- 8月18日(木) 大友直人Presents T-Shotシリーズ vol.8
柴田花音 チェロ・リサイタル
- 11月29日(火) 大友直人Presents T-Mastersシリーズ vol.5
小山実雅恵 ピアノ・リサイタル
- 12月24日(土) 大友直人Presents T-Shotシリーズ vol.9
東 亮汰 ヴァイオリン・リサイタル
- 2023年
- 2月23日(木・祝) ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ)

高崎芸術劇場
TAKASAKI CITY THEATRE

「紅」が繋いだ 出会いとご縁に導かれて

「紅板締め」技法を復元し、伝承する活動を続ける染色家

吉村晴子 Haruko Yoshimura

長年にわたり「紅板締め」技法の復元に取り組まれた染色家、「たかさき紅の会」代表の吉村晴子さん。2006年に復元に成功をされてから15年、その取り組みは技法を伝承する活動へと転換を遂げています。2020年からは、市染料植物園で植物染料による「紅板締め」の試験染めを重ねてきました。

活動を始めたきっかけ、復元への道のり、次世代へのメッセージなど。吉村さんに思いを語っていただきました。



「たかさき紅の会」ができるまで

——幻の染色技法「紅板締め」を復元させようと、活動を始めたきっかけは何でしたか。

私は、30歳頃から近所のろう描き染め教室に通い始め、高崎市美術展や県展、日本現代工芸展、日展などに作品を出品するようになりました。その数年後には、自宅に工房を構え、様々な草木染めに取り組んできました。

65歳になって、産婦人科医だった主人の他界で環境が一変し、忙しく過ごしていた生活から落ち着いて、自分の来し方行く末に思いを巡らしたとき、紅板締めのことはそれまで全く気にかけてこなかったのに「そういえば、うちが紅紺屋だったなあ」とふと思いつくことがありました。

同じ頃、市政100年の高崎市史の編纂のために生家の吉村染工場に調査が入ったのです。吉村染工場は1932年(昭和7年)に廃業していますが、蔵には古い書籍や帳簿などがありますがと保管されていたので「大事にしてください」というお話がありました。昔、高崎にはたくさん染工場があり、絹市場で盛んに取引され、その半分は紅絹に染められて着物の裏地に使われていました。

また、桐生にある群馬県繊維工業試

験場の天然染料研究会の講習に参加した時に、吉村染工場に残っていた7種類74枚の型板を持参したら、「組で揃って残っている型板はとても珍しく、骨董屋ではなく染工場にあったことが貴重」と教えてもらいました。美術史家の黒田亮子先生ともその時に会って、「吉村家にゆかりのある人ならちゃんと調査をしたほうがいいですね」と指針をもらい、紅板締めの調査をやってみようと思いついたんですね。この活動を続ける中で、良いご縁が次々とありました。

——その後、「たかさき紅の会」を発足するのですよね。

はい。当時、繊維工業試験場の職員だった新井直直さんとその頃に出会い、一緒に調査を始めました。

ある時、たまたま新聞に京都造形芸



「よみがえる紅-高崎の絹と染工場」。紅板締めが主ではなく、高崎の染色や吉村染工場、吉村家の歴史についてまとめた内容となっている

術大学(現・京都芸術大学)が発行した単行本『京紅板締め』の広告が出ていたのを見つけたのです。すぐに2冊取り寄せて、新井さんと見ましたが、うちの蔵に保管されているものと同じ紅の生地が載っていました。

こうしたいくつかの出来事が同時期に重なり、紅板締めが京都だけでなく関東にもあったということもわかって、「群馬・高崎に根差した郷土誌のような染物の本を出したい」という気持ちになりました。高崎の吉村染工場は明治から昭和の初めまで、紅絹と紅板締めに生業とし、博覧会に出品し賞をいただくような仕事をしていました。

2003年頃、伝統文化に対して助成金を出す、県の「文化の芽」支援事業があると知って応募したところ、支援が受けられることになりました。そこで、私の工房や草木染めをしていたメンバー20人くらいの賛同を得て、「たかさき紅の会」を立ち上げたのです。そして、『よみがえる紅-高崎の絹と染工場』の出版に至りました。出版記念を高崎哲学堂(旧井上房一郎邸)で行いましたが、その時はまだ復元の前だったので、紅板締めの展示やワークショップという形でしたね。

板が喜んでいる

紅板締めには欠かせない型板に



ついて、印象的なエピソードがあると伺いました。

千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館に京都の染物問屋「紅宇」の型板が収蔵・展示されるといふことで調査が始まり、その最中に、たかさき紅の会のメンバーで視察に行つて特別に見せてもらいました。そこで、「資料としての型板は佐倉にある。私たちは普段から染色をしているのだから、型板を実際に使つてやってみよう」とみんなで話しました。

そうは言っても、当時の貴重な型板を使うのはためらいがあり、篆刻をしている方をお願いして、まずは新しい型板を4枚作成していただきました。しかし、その方から「道具は使つてなんぼ。痛んだら修繕すればいい」とも言われ、昔の型板を使つてみようと思ふ心がついたのです。実際に古い型板が

真っ赤に染まると、メンバーから「板が喜んでる！」という声が上がりました。

手探りの試行錯誤で 辿り着いた技法

——2006年に復元に成功なさっています。その過程で色々な困難やご苦労があったのではないのでしょうか。

手探りで何度も試験を重ねても、なかなか綺麗に染まりませんでした。残された文献には「型板に白絹を挟み、締めやぐらに掛けて赤染料を柄杓にて掛ける」という一行しかなかったのです。困難や苦労というよりは、何もかもがワンダーでした。逆にその一行を手掛かりに「どうしたら出来るのだろう？」という好奇心をもとに、色々工夫を重ねました。

——具体的にどのような工夫をされたのでしょうか。

昔からの楔形の締め具ではどうしても滲みが出てしまったため、それをステンレス製のものに変えて現代風にアレンジしたり、白絹は薄いものが必要だったので特注したり、染料の赤と言っても様々な色目があるのでどの色にするのか比率を変えたり；試行錯誤を繰り返しました。その中で色々な気付

きや発見があるのが嬉しかった。

手順や工程を確認しながら染めを重ねるうちに、鮮やかに染め上がり、現代の間着を作成できるようにまりました。

結果として、材料や道具は昔と同じものではないので、再現というより、技法の「復元」になりました。

共通の思いで重ねる工夫 広めたい紅の世界

——気の遠くなるような、その作業を続けて来られた原動力は何でしょうか。

作業は1日仕事になりますが、夕方までやって疲れると、お菓子を食べてお茶飲んで、その日の振り返りをします。みんなでしゃべり、感想を言い合っていると、それが共通の思いになるんですよね。そうやって、ちょっとしたことを通して、次回の作業の時に必要なような工夫を積み重ねていきました。



たい人がいても道具がなければできない。そういう意味では、素晴らしい巡り合わせだったと思います。

——紅板縮めの活動について、振り返ってみて思うことはありますか。

紅板縮めは私にとって、元々は気にかけていないものでしたが、後でその素晴らしさに気付きました。

若い頃は自己表現のための染色でしたが、歳を重ねるにつれて、その考え方が変わってきました。自分という存在を、流れゆく歴史の中でまたまこの時代を生きている一人として感じるようになり、自然の出会いやご縁を有難いと思うようになりました。出合いをキヤッチする力、引きは強いほうかもしれせん。



吉村 晴子(よしむら はるこ) | 染色家

1934年、高崎市生まれ。「たかさき紅の会」代表。30代より、ろう描き染色作品を群馬県美術展へ出品。知事賞、近代美術館賞奨励賞を受賞。50代より、日本現代工芸美術展へ出品。日展入選3回。生家である吉村染工場に残された資料をまとめ、2004年「よみがえる紅 たかさきの絹と染工場」を出版。長年にわたり「紅板縮め」技法の復元に取り組み、2006年に復元に成功。2020年からは、市染料植物園とともに「天然の植物染料」による技法の確立を目指し、研究を重ねる。



高崎芸術劇場1階に展示されている大作「祝祭」。かつて繁栄していた高崎絹市場の紅絹と復元された「紅板縮め」を取り合わせ、人々の集う喜びを表現。「高崎芸術劇場の上階からエスカレーターで降りてきた時に華やかさが人目を惹くよう、紅を使いました」と吉村さん。



2021年9～11月の間、高崎芸術劇場1階レストランのガラスシェルフに色とりどりの作品を展示。高崎にゆかりのある建築家、ブルーノ・タウトの「ガラスの家の玩具」がモチーフ。色とりどりのガラスの積木が重なっている様をイメージしている。

私は一人っ子さんなんですが、一人っ子って、一人でのんびりするのも好き、みんながいるのも好きなんですよね。子育て中に活動していたガールスカウトでみんなまでやっているのも嬉しかった。一人で染色をするのも好きでした。でも、一人でやっているとみんなに会いたくなる。染色とガールスカウトと家庭。家庭は夫の理解があり、三つをうまく続けられました。

紅板縮めについては、日本の四季を取り入れた赤と白の模様の艶やかさ、紅色の生命力の力強さなどの魅力を通して、この世界を多くの皆さまに知っていただきたいという思いで、活動を続けてきました。

「まだどこもやっていないことをやりたい！」

——2020年からは、市染料植物園とともに「天然染料」による技法の確立を目指し、研究を重ねていらっしやいます。きっかけや思いをお聞かせください。

染料植物園には、講師として開館当初の1994年から出入りしているのですが、職員の皆さんとも心が知れていて、最初のきっかけも「紅板縮めをやってみよう」という何気ない現場の会話からでした。草木を使った天然染料については、

知ってもらえたらうれしいですね。

——高崎で暮らす次世代の方々へのメッセージをお願いします。

高崎は「みんなで作ろう」という前向きな姿勢が強く、そういう動きに寛容な気風もあります。皆が面白がって前へ進める力があるから、それを信じて気楽にやってみてください。遊びやパフォーマンスでも何でも、誰でも楽しめるような雰囲気のものだと元氣になれますよね。赤いものも身近にあると力になります。精神が元氣でいられればいいことがありますよ！なにより、長生きできます(笑)。

出合いとご縁——その時その時を逆らわず、先入観を持たずに大切にしているといるのが繋がってゆきます。



高崎市染料植物園企画展「赤の力 Part2 紅板縮め～高崎でよみがえった赤の技法～(2021年10月8日(金)～12月5日(日))



キエ アンダーソン

KIE Anderson

シンガー・ソングライター

KIE Anderson(キエアンダーソン)

シンガー・ソングライター。1997年1月26日生まれ。子供の頃から歌うことが大好きで小学6年生の時にギターを始める。中学2年生の頃から路上ライブを始め、何をやっても褒められない自分が、歌だけは褒められることが嬉しくてシンガーソングライターを目指し始める。群馬県を中心に活動し、数々のオーディションで賞を獲得。2019年TAGO STUDIO TAKASAKI MUSIC FESTIVALでは最優秀賞を獲得。2021年TAGO STUDIO RECORDS TAKASAKI第一弾アーティストとしてデジタルシングル「ピンクレモネード」でデビュー。



たご くに お

多胡邦夫

音楽プロデューサー

多胡邦夫(たご くに お)

作曲家・音楽プロデューサー、TAGO STUDIO TAKASAKI運営責任者 群馬県高崎市出身・在住。1973年9月4日生まれ。アメリカンロックに強く影響され、学生時代よりバンド活動を始める。群馬県で音楽を志す者の中では知らない者がいないと言われるほど、各コンテストを総ナメにし、更なるステップとして上京する。その後、本人の魂がこもった熱いデモテープが数社のレコードメーカーの耳に止まり、ソロアーティストとしての修行をする傍ら、浜崎あゆみ、hitomi、Every Little Thing、柴咲コウ、AKB48等へ楽曲提供を行い数多くのヒットを飛ばす。2008年には、プロデュースする木山裕策とともに名曲「home」でNHK紅白歌合戦出場を果たす。2014年、全国初の試みとなる群馬県高崎市のプロ専用レコーディングスタジオ「TAGO STUDIO TAKASAKI」の運営責任者として設置、運営に直接携わる。アマチュアオーディション、MUSIC FESTIVALの開催など、新たな才能の発掘、育成を行うとともに「高崎サウンド」の創造に尽力している。近年ではヘッドホン「TAGO STUDIO T3-01」を開発、国内最高権威のオーディオ・ビジュアル・アワード「VGP2018」の受賞など、オーディオ業界においてメードイン高崎ブランド「TAGO STUDIO」を確立させた。

「TAGO STUDIO RECORDS TAKASAKI」始動

高崎から世界へ！ 音楽人が語る「音楽のある街」の未来

これまでに250以上の作品を世に送り出し、国内でも一流のレコーディングスタジオとして名高い「TAGO STUDIO TAKASAKI」。開館から7年目を迎えた2021年、新たな音楽レーベル「TAGO STUDIO RECORDS TAKASAKI」を立ち上げました。プロデューサーとして指揮を執る多胡邦夫さんと第一弾デビューアーティストのシンガー・ソングライター・KIE Andersonさん。高崎発の音楽を広める取り組みについて、お二人の想いをお聞きしました。

高崎発の音楽レーベル「TAGO STUDIO RECORDS TAKASAKI」

——2021年10月に始動した音楽レーベル「TAGO STUDIO RECORDS TAKASAKI」。

多胡 スタジオを立ち上げた2014年から、東京から大勢のミュージシャンに来てもらうだけでなく、「地元・高崎から全国や世界へアーティストを発信できる形をつくりたい」というコンセプトがありました。とはいえ素晴らしい。

多胡 一言でいえば「歌力(うたごから)」ですね。同じメモロディーを100人に歌わせたとしても聞こえ方は異なると思いますが、彼女の場合は歌による「感情の伝わり方」が強烈に素晴らしい。リズムや音程といった技術的な領域の先にある、表現力の部分が圧倒的でした。

——子供の頃から歌うことが好きで小学6年生からギターを始めたというKIEさん。デビュー後の周りの反応はいかがでしたか。

KIE 家族や友達、お世話になってる方々からたくさん連絡をいただきました。デビューを支えてくれた多胡さんも初めは「怖い人かな…」と思っていたんですけど、実はとっても優しく繊細な人(笑)。私の話をしっかりと聞いてくれて、とても信頼しています。

多胡 彼女は地元でも有名な「歌の上手い子」でしたから、地元の人たちや商店街の人たちも応援してくれていて。今回のデビューをとっても喜んでくれています。

楽曲に込めた想い、届けたいもの

——現在リリースされている楽曲について、曲に込めたメッセージや想

しいアーティストがいなければ始まらないと、2016年からオーディション「TAGO STUDIO TAKASAKI MUSIC FESTIVAL」を開催。2019年のフェスティバルで最優秀賞を受賞したKIE Andersonがスタジオのサポートの下、デビューすることが決まり、これがレーベル始動のきっかけとなりました。

——2021年10月に第一弾「ピンクレモネード」、同年12月に第二弾「いたい」の2楽曲をリリースしたKIE Andersonさん。多胡さんが感じている彼女の魅力は何でしょうか。

いをお聞かせください。

多胡 デビュー曲「ピンクレモネード」は、コロナ禍の世の中に少しでも元気を与えられる曲を目指し制作しました。前向きなメモロディーと歌詞を通じて、聴いた人の背中を押してくれるような一曲に仕上げました。

KIE 恋を題材にした「いたい」の「いたい」は真っ先にサビが思い浮かんだ曲でした。恋に限らず、生きていれば誰しも悲しい気持ちになることはあると思います。ただ、私はその悲しい気持ちも大事にしたい。歌を通じて「悲しみは悪いことじゃない、自分の気持ちを大切にしたい」という想いを伝えたいと思っています。



多胡 傷つくような悲しい想いをしても、投げ出さない選択をする歌なんですよね。「嫌だからサヨナラ」ではなくて、悲しい中でも良いところを見つけ、愛し続ける物語。僕もよく「楽しく好きな仕事ばかりしていて、人生楽しいでしょ」なんて人に言われますが、そんなことないですよ(笑)。誰だって楽しいことばかりじゃない、苦しいこともあるのが人生。やりがいのある仕事や自分自身の良いところを見つけて前向きに生きていくことを伝えられればと思います。

——プロのミュージシャンになってKIEさん自身が感じる変化はありますか。

KIE 一番の変化は曲を作るようになったことですね。今までの音楽活動のスタイルは、YUIさんや絢香さん・阿部真央さん……最近だとハナレグミさんや中島みゆきさん、RADWIMPSさんといったカバリの弾き語りを中心だったので、曲作りは人生初の経験でした。私は言葉で伝えることが得意でなく、今も苦戦しています。多胡さんにアドバイスをお願いしながら、引き続き頑張っていきたいと思っています。

カバリー曲を歌っているだけの時は、音楽に対して「こうしたい」「こうしたきゃ」という気持ちがなく、何も考えず自由に歌っていましたが、デビュー「トなんだよ」って言うてきたように、「わが街にアーティストがいる」というワクワク感を高崎の皆さんに届けたんです。例えば、東京五輪で金メダルを獲得したソフトボールでは、普段、宇津木スタジアムで練習や試合をしている高崎のチームの選手たちが大活躍しました。それと同じように、地元出身・地元在住のアーティストが活躍することで、嬉しさや誇らしさを感じてほしいです。

「音楽のある街高崎」の未来

——今年3月には高崎芸術劇場で「TAGOSTUDIO TAKASAKI MUSIC FESTIVAL 2022」が予定されています。2016年、2019年に続く3回目の全国オーディション、開催への

——してから今までよりちゃんと「音楽と向き合うようになった」と感じます。

高崎の音楽シーンを振り返る

——以前、「劇場都市」のインタビュー(2016年2月発行、vol.100)で高崎を「これから三年後、五年後が楽しみな街」と振り返られた多胡さん。改めて、高崎の音楽シーンの移り変わりについて、どのように感じていますか。

多胡 以前の取材時にはまだ構想中だった高崎アリーナや高崎芸術劇場の話も、とても楽しみに聞いていました。劇場について言えば、ライブをしたミュージシャンから「音がとにかく素晴らしい」という声をよく聞きます。「音楽のある街高崎」らしく、素晴らしく

意気込みをお聞かせください。

多胡 僕はフェスティバルを通じて、音楽が大好きで、皆に幸せを届けられるミュージシャンに出会いたいと強く願っています。今回スペシャルゲストには、昨年40周年を迎えた、高崎が誇るロックミュージシャン・布袋寅泰さんをお呼びしました。高崎の皆さんと一緒にアマチュアバンドを応援しながら、布袋さんのお祝いができるような温かいイベントにしたいと思っています。

——今後、どのような音楽を世界へ発信したいとお考えでしょうか。「これからの挑戦」について一言お願いします。

多胡 音楽を通じて伝えたいこと——



しい劇場でパフォーマンスができ、レコーディングスタジオもあり、高崎発のレベルもできた。本当に、夢見ていた世界が少しずつ現実になっていくような気持ちです。素敵な会場があるので、それを最大限活用できる楽しい催し物を増やしていきたいと思っています。

——音楽づくりにおいて、「高崎ならでは」と感じることもあるのでしょうか。

多胡 振り返ってみると、僕が高校生の頃、群馬には録音をするスタジオもなくプロのミュージシャンになる仕組みが何もありませんでした。地方から東京に行くしかない状況を変えたくて、「TAGOSTUDIO TAKASAKI」を立ち上げまし

わざわざメロディーと歌詞にまで届けたい想いつつ、愛情のこもった大事なメッセージですね。僕自身、学校の先生や大人に何を言われても納得できなかったのに、曲を聞いたらスーッと心に入ってきて「そういうことか」と一瞬で気付かされた経験があります。音楽で時代を変えたいというのは難しいけれど、一人の人間の心に気づきを与えることはできる。コロナ禍という苦しい時期だからこそ、皆が前に一歩踏み出せるような曲を一つでも多く作りたい。それが音楽の最大の力だと、僕は信じています。

KIE これからどんな曲を届けたいのかは、まだはっきりイメージできていませんが、とにかく色々な曲を歌いたいと思っています。J-POPだけでなく、ジャズやラップなど挑戦したいことはいっぱいあります！多胡さんが思い描く企画に、KIE Andersonとしてこれからも参加できたら嬉しく思います。

——ちなみに、KIEさんはプロとして、どんなアーティストになりたいと思っていますか？憧れている人とか、目指すアーティストとか……。

KIE 憧れる、こうなりたいていう人はいないかもしれませんが、好きな人はいっぱいいます。苦手なジャンルもないので、自分の曲でも誰かが作

た。このスタジオやレベルでこだわっているのは「生の人間が出す音、生楽器を演奏する音を伝えること」。BOØWY(ボウイ)が生まれた街・高崎のバンド文化を受け継いだ僕らだからこそ、大切にしたい想いですね。

KIE 「おとまち」の路上ライブには中学生の頃から出ています。KIEのことを知ってくれている人がライブ会場に来て歌を聴いてくれるのも嬉しいのですが、たまたま通りがかった人が歌に足を止めて聴いてくれるのも楽しくて！いつもと違った緊張感もありますし、初めて歌を聴いてくれた人が涙を流してくれた時はこちらも感激しました。

——「TAGOSTUDIO RECORDS TAKASAKI」の取り組みを通じて、この街の音楽をどのように盛り上げていきたいとお考えでしょうか。

多胡 音楽やアーティストが高崎の人にとって誇りに思ってもらえるようなレベルにしていきたいですね。僕らが「BOØWY」って高崎のアーティスト



った曲でも、たくさん歌いたいと思っています。その中で1曲でも多くの方が聴いてくださって、誰かに何かが届けば嬉しいです。

多胡 音楽をやっている人に憧れるの話を聞いて、「いない」って答える人は日本中探しても3人いないかもしれません……既に「自分の世界」を確立しているこの子のすごさを、改めて感じました。

高崎に根づくバンド文化を愛し、音楽の力を信じる多胡邦夫さん。可愛らしくも力強いKIE Andersonを見せてくれたKIE Andersonさん。二人を中心として、これからは「音楽のある街高崎」からワクワクする新しい音楽が生まれていくだろう。



群馬交響楽団
首席チェロ奏者

長瀬 夏嵐

「チェロは人間の声に一番近いと言われている楽器。弾いていて心が安らぎ、落ち着く。音域も低音から高音まで幅広くカバーできる。フォルムも美しいのが魅力」と語る長瀬夏嵐さん。2019年より群響の首席チェロ奏者を務めている。

生まれた時から家にチェロがあり、父親がチェロの指導者という恵まれた音楽環境で育った。物心がつく前から演奏会に連れて行かれ、初めて子供用のチェロを持ったのは3歳の頃。父親の生徒がチェロを弾く姿を見て、自然に見様見真似で弾き始めたのがきっかけ。

14歳で単身渡豪。シドニー交響楽団員のロシア人チェロ奏者と出会

い、初めてチェロをきちんと習って、本格的にのめりこんでいった。

影響を受けた二人のチェロ奏者

19歳で帰国、「長野アスペン音楽祭」へ参加した時に、チェロ奏者・毛利伯郎氏と出会う。半年間、毛利氏の指導を受け、桐朋学園大学ソリストディプロマコースに見事合格。「毛利先生は、行き場のない僕を救ってくれた恩人。先生の人柄を通して、音楽に対する姿勢を一から教えてもらった。見習うべきところが沢山あった」と振り返る。

もう一人、長瀬さんに影響を与えた人物がいる。世界的なチェロ奏者で「最後の巨匠」と呼ばれた、故ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ氏だ。長瀬さんは、ロストロポーヴィチ氏が小澤征爾氏と共に主宰した「キヤラバンコンサートツアー」に二度にわたり参加。「音楽に触れる機会の少ない地域の人にも本物の音楽を聴いてもらおう」という試みで、心からの演奏を聴き、大勢の人々が涙を流した。その期間に見たのが、ロストロポーヴィチ氏の「陰の努力」。皆の食事中や休憩中も、氏はチェロを弾き続けた。「僕は1段ステップダウンしたら10段ステップアップできるように練習するんだよ」という言葉と共に、並々ならぬ

努力をする姿に大きな衝撃を受ける。

自然にあふれ、人が温かい街で

「住み心地最高、空気最高、子育て最高」と、高崎の魅力について話す。高崎に移住して早20年近くになる。仕事上の競争が激しく、プレッシャーを感じる都会が窮屈で嫌だった。故郷の長野に似て山があり、のびのびと音楽に没頭できる環境に身を置きたかった。それを実現できるのが、高崎だったのだという。「団員もお客さんも、人が皆温かい。オープンに、かつこつけずに、自然体でいられる街」と笑顔を見せる。団員同士がプライベートでも付き合っている素晴らしい環境を心から喜んでいる。

趣味は溪流釣り。「日常を忘れてリセットする時間。何も考えずに無心になることでリラックスできる。」溪流釣りの解禁中は休みの日は必ず、時には仕事帰りにも群馬県内の様々なスポットを巡り、楽しむ。従来の日本の大学教育にはない、年齢の枠を超えて皆で意見を言い合えるような音楽教育の現場に携わるのが夢だと語る長瀬さん。「群響にこれから入団する若い人達とも、皆で心をオープンにして、対等になつていられる場を作り出したい」と熱いまなざしを見せた。

生まれ変わってもチェロを弾きたい――

大好きな街から奏でる、自然体で温かなチェロの音色



長瀬 夏嵐
Karan Nagase

■出身 長野県
■入団 2005年4月

■最近の印象に残っている群馬交響楽団定期演奏会
竹澤恭子さんのブラムス ヴァイオリンコンツェルトは感銘を受けた(2020.1.26 第554回)。衝撃的で、楽しかったのは林英哲さんの大太鼓との共演。(2022.11.20 第573回)

■好きなアーティスト
ヨヨー・マ、玉置浩二
■好きな作曲家
バッハ、ベートーヴェン、ブラムス

